

誰のための脱デフレ

所得が低い家庭の大学進学者で五段階成績三・五以上の人が借りることができた無利子奨学金を、成績基準を撤廃して誰でも借りられるように変えた。来年度から月額三万円以上。働き方改革と同根のリベラリズムに基づく安倍総理の改革である。「悪平等民主主義」社会がさらに進む。

みんな平等の社会主義政策だ

政府主導の「働き方改革」の推進には胡散臭いものを感じる。「同一労働・同一賃金の導入」という案を聞いた時にバツと頭に浮かんだのは旧ソビエト社会主義共和国連邦の経済政策だった。

農民の自営は認められず、全員

「同一労働・同一賃金」の導入によって成り立つ。競争と下剋上が公認されており、優勝劣敗が社会の常識である。

日本は明治時代以来ずっと資本主義であり、経済に限れば江戸時代の初めから自由競争の資本主義であった。

そこへ「同一労働・同一賃金」である。仕事と同じならばパート・アルバイトも正社員と同じ賃金。ペテラントと新米、貢献度の高い年功者若し社員、上司と部下も仕事と同じなら同一賃金ということである。

この立案は生産性を上げるのが目的と聞かすが、どんなに鼻屑目に見ても生産性が上がる目はない。くどいようだがもう少し。

私が講演で使う設問の一つに「仕事ができない部下を冷たくあしらひ、できる部下をほめそやす」といった露骨な差別をしてはならない」とある。部下育成に関する上司の考え方としてこれが○か×かを問う。

いつも七割以上の人が○をつける。露骨な差別「はいけないと信じているからである。人間みな平等、優劣の差をつけなければ劣った人が傷つくから差別反対。運動会の徒競走で一等二等を廃止した小

学校の先生と同じ思想の持ち主で

少し考えればこの設問は明らか

に×である。仕事ができない（成績不良、非協力、反会社の言動、賞与はもとより昇給額や昇進昇格

面で差がつくのは当たり前。差がなければ優秀な社員は去って行く。

こうした待遇の差だけでなく、上司は部下を育てるために、だめ

な部下と優れた部下を態度行動言葉遣いではっきり差をつける。だ

めな部下に対しては白眼視して冷たくする。優れた部下は労をねぎ

らいほめたたえる。

上司がはつきり態度で示せばだ

めな部下は傷ついて辞める。しかし

し三人のうち一人は心を入れ替え

る。

「長時間労働の是正」である。

労働時間が長ければ長いほど生産性は低くなる。生産性は国内総

生産を労働量で割った数字である。日本の労働生産性はここ二十年

ずっと世界二十位に低迷している

そうである。

労働時間を少なくすれば生産性が上がる、生産性が上がれば会社

が儲かり社員の給料が上がるとい

努力して上司に認められるレベル

に成長する。だめな部下を覚醒さ

せるために上司は冷酷を演技でき

なければならぬ。「みんないい

子」はみんなをだめにする。「同

一労働・同一賃金」は「みんな

いい子」政策である。

同一労働・同一賃金の本来の目

的は賃上げである。賃上げの目的

は生産性の向上、デフレ脱却であ

る。この政策が具体化し実施され

れば、働く人の労働意欲は減退す

る。会社も意味のない経費増で疲

弊する。生産性は下がり政府の目

算は外れる。やってみなくても結

果は解っている。

国がムード（空気）に流されて

突っ走るの危険である。国力衰

減の暴挙になりかねない。

経営管理講座 335 染谷和巳

過労死は長時間労働が原因か

働き方改革のもう一つの目玉は「長時間労働の是正」である。

労働時間が長ければ長いほど生産性は低くなる。生産性は国内総

生産を労働量で割った数字である。日本の労働生産性はここ二十年

ずっと世界二十位に低迷している

そうである。

労働時間を少なくすれば生産性が上がる、生産性が上がれば会社

が儲かり社員の給料が上がるとい

う。これは「風が吹けば桶屋が儲か

けでオシマイである。残業や休日出勤が過重で過労死や過労自殺が増え、現在社会問題になっている。

この問題を解決するために「長時間労働の是正」をするなら理解

できる。

しかし月間の残業時間の上限を

法で定めて罰則を設けても過労

死、過労自殺の数は減らない。

うつ病などの精神疾患で過労自

殺する人は三十代が多く、心臓や

脳疾患で過労死する人は五十代に

多いのだが、原因は労働時間の

長さだけではないと思う。仕事の

種類と質も大きい原因ではないだ

ろうか。

好きな仕事あるいは少なくとも

イヤではない仕事なら時間は重要

な原因にはならない。イヤな仕事

やイヤな上司先輩と長時間つき合

い。

好きな仕事あるいは少なくとも

イヤではない仕事なら時間は重要

な原因にはならない。イヤな仕事

わなければならぬ環境にあって、そこから逃げられない状況が

辞める自由、転職の自由はある。

一切を捨てて逃げれば死なずに済

む。しかし時すでに遅し。頭や体

が病気で萎縮して逃げる気力がな

くなっている。

よって残業時間を短くすることは

は過労死問題を解決しない。

もし国が長時間労働を禁止した

ら会社はその仕事を増やそうと

さなければならぬ。利益を出さ

なくてはならない。利益を出さ

なくてはならない。利益を出さ

なくてはならない。利益を出さ

なくてはならない。利益を出さ

なくてはならない。利益を出さ

なくてはならない。利益を出さ

なくてはならない。利益を出さ

なくてはならない。利益を出さ

なくてはならない。利益を出さ

なくてはならない。利益を出さ

日本人のためにならない改革

現在日本はデフレだと言いつつ、これを脱却することが急務だと言いつつ、このデフレで誰が困っているのか、誰が不幸なのか。デフレを脱却すると誰が幸福になるのか。

収入は増えないが食料品などの物価が安定して暮らしやすい世の中である。給料が上がってもそれ以上に物価が上がると、今のままのほうが良い。これが日本人の普通の考え方だろう。

一億二千万人が飢えることなく食って平穏に生活できているのがすでに奇跡なのである。飽食暖衣の民の生命力がだんだん弱くなる、子を生育する力も衰え、少子化時代を迎え、人口が減り、労働力が縮小し、生産性が低下し、経済が停滞するのは歴史が教える事実である。

その自然の流れに逆らって、成長、向上、発展、拡大といった華々しい言葉を掲げ続け、政治の力で打開しようとはかるのは無謀である。

もう一度聞く。誰のための脱デ

フレか、誰のための働き方改革か、日本の経営を行っているまじめな会社とそこで働く社員のためではない。会社も社員も政府主導の改革なんか望んでいない。

年功序列型賃金カーブの是正、女子力の活用、外国人労働者の受け入れ、いずれも政府が口出しすることではない。税金で助成や援助をしてまで推進する課題ではない。

民間に対する介入を最小限にする政府を保守主義の政府という。その反対に民間の小さいことまでいちいち指導し規制したがる政府をリベラリズムの政府という。少子化時代を迎え、人口が減り、労働力が縮小し、生産性が低下し、経済の域をはみ出している。難局打開のためにもがいて何にでも口出ししようとしている。

成長神話をまだ抱き続けている。それだけではない。大企業に2%の賃上げを要請するなど、アメリカの恫喝に答えるようになりふりかまわず突撃しているように見えてならない。